

レン・ヘン・アン研究員（カンボジア）



はじめまして。私はカンボジアから来ました、レン・ヘン・アンと申します。私の国カンボジアは、東南アジアの国の一つで、人口の80%は米などの農業従事者です。カンボジアの経済成長は、農業生産高に依存しています。過去を振り返ると、カンボジアは私たちの生活を脅かすほどに頻発する洪水や干ばつを多く経験してきました。そこでカンボジア政府は、これら課題を解決し防災機能を拡充させるため、最優先行動として、1995年に国家防災委員会(NCDM)を設立しました。私はこの国家防災委員会で2009年から国家防災委員長秘書として働いています。ここでは、中央政府の広報伝達部局の関連業務を行ってきました。現在はADRCの客員研究員として、2014年の1月から4月まで研究業務を行っています。

豊富な災害予防と災害時における驚くべき回復力をもつ日本は、防災の分野におけるメカニズムや、人材育成、蓄積された豊富な経験を有していると思います。そこで、私のADRCにおける研究は、「防災分野における中央政府およびNGOの連携」について取り扱いたいと思います。また、私がADRCに滞在する間、他の研究員の方や、関係機関への訪問、会議への参加、現地視察を通じて、防災分野に関連する多くの知見を得たいと思います。そして、自国に戻った際は、日本で学んだことをカンボジアの関係者と共有したいと思います。

日本での滞在中、たくさんの文化や日本の経済についても学びたいと思います。また、個人的には、日本とカンボジアの良好な関係を築き、さらにADRCとNCDMの協力関係をより深いものにしたいと思います。